

電 力 情 報

NO. 39

平成 23 年 8 月 26 日

東 北 電 力 (株)

7 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について (表 - 1 参照)

7 月分の販売電力量は、59 億 2,000 万 kWh、対前年比 89.5% の実績となり、東日本大震災の影響などにより、5 カ月連続で前年実績を下回りました。用途別の実績については、以下のとおりです。

特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、東日本大震災の影響などにより、対前年比 98.4% の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 97.9% の実績となりました。

特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、東日本大震災の影響などにより対前年比 81.9% と、前年を下回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 85.9% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

大口電力

大口電力は、東日本大震災の影響などにより、対前年比 86.4% の実績となり、5 カ月連続で前年実績を下回りました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

7月の発受電電力量の合計は、67億3,800万kWh、対前年比86.0%の実績となり、東日本大震災の影響などにより、5カ月連続で前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率は97.2%の渇水となりました。

前年との出水率の違いなどにより、発電量は、前年を1億1,200万kWh下回る7億kWhとなりました。

（自社火力）

東日本大震災の影響により、停止した発電所の発電量を補うため、被災を免れた発電所が高稼働したことや、前年との運転状況の違いなどから、発電量は前年を7億700万kWh上回る37億7,200万kWhとなりました。

（自社原子力）

東日本大震災の影響により、女川原子力発電所の全号機が停止中であること、および東通原子力発電所1号機が定期検査で停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を3,000万kWh上回る9,500万kWhとなりました。

（他社受電）

東日本大震災の影響により、他社の発電所において停止しているプラントがあることや、前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を3億5,400万kWh下回る16億1,900万kWhとなりました。

以 上